

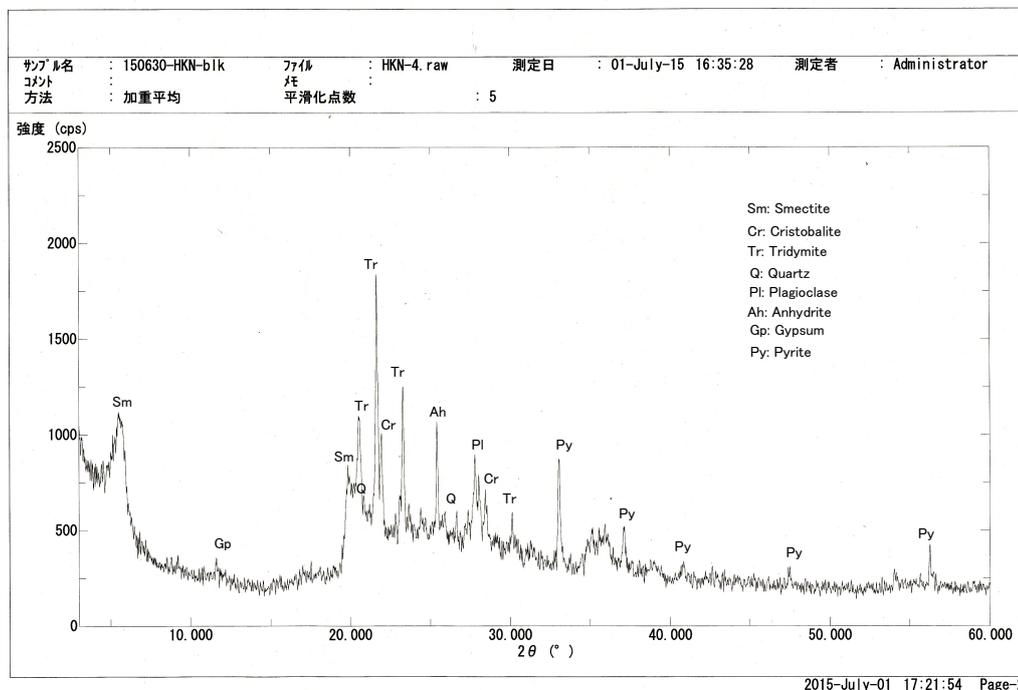
箱根火山 2015年6月30日に降下した火山灰の構成鉱物(概要報告)

今回の解析に用いた火山灰は6月30日に大涌谷から北へ約1.5kmの地点で採取されたもので、29日の降下物を除去後、30日午前7時～11時に降下したものである。

試料は細粒の灰白色を呈し、29日に採取されたものより細粒でやや明るい色調である。X線回折によれば、火山灰に含まれる主要な鉱物はスメクタイト・鱗珪石(トリディマイト)・方珪石(クリストバライト)・黄鉄鉱・硬石膏で、石膏・斜長石・石英などが伴われる(チャート図)。

29日の火山灰と比較すると、構成鉱物の種類は同じである。また、X線回折強度から推定される鉱物含有率は、鱗珪石(トリディマイト)・方珪石(クリストバライト)はほぼ同程度であるが、スメクタイト・黄鉄鉱・硬石膏などはやや減少している。

以上より、30日に噴出された火山灰を29日のものと比べると、構成鉱物の量比に若干の違いは見られるものの、構成物種には特段の相違は認められない。従って、30日の午前中に噴出した火山灰も、29日と同様に、熱水変質地帯の浅所部分(スメクタイトの形成条件より、約100m以浅と推定)が噴火活動により放出されたものと考えられる。



X線回折プロファイル(未処理、未粉碎の火山灰バルクの分析結果)